

新長崎市史 第二巻 近世編 目次

序章 中世都市長崎から近世都市長崎へ

第1章 近世都市長崎の成立

江戸幕府の成立と長崎／
キリシタン禁制の強化と寺請制度の成立／
鎖国日本をめぐる国際情勢／
長崎警備／寺社の創建

第2章 近世都市長崎の推移と構造

寛永期前後の都市長崎／
寛文の大火前後の都市長崎／
文化・文政・天保期の都市長崎／
開国前後の都市長崎／
都市長崎周辺の造成・開発

第3章 天領長崎の支配構造

長崎奉行／長崎代官／町年寄／
乙名・組頭・日行使・五人組／
地役人の組織とその増減

第4章 天領・大村藩・佐賀藩領の村々と街道

天領の村々／大村藩領の村々／
佐賀藩領の村々／長崎の街道

第5章 朱印船貿易と長崎貿易の変遷

朱印船貿易制度の創始と展開／
長崎貿易の展開／貨物市法の開発と展開／
糸割符の再興と御定高仕法の創始／
長崎会所貿易の成立／
正徳新例の制定とその後の長崎貿易

第6章 出島と唐人屋敷

出島の造成とオランダ商館／
オランダ貿易のしくみと阿蘭陀通詞／
唐人屋敷と新地／
中国貿易のしくみと唐通事／
開国前後の出島と唐人屋敷

第7章 近世長崎の生活

年中行事と祭礼／
多彩な生活文化／
「長崎喧嘩」と町人社会／
長崎の美術／
長崎の工芸

第8章 近世長崎の学芸

中国文化の伝来／長崎の儒学と国学／
町人の学問と西川如見／
阿蘭陀通詞と唐通事の活躍／
シーボルトと鳴滝の学塾

第9章 幕末—維新前後の長崎

高まる外患とフェートン号事件／
各種伝習所と致遠館／
安政の開国と居留地の造成／
潜伏キリシタンの復活／
長崎奉行所の崩壊

終章 近世都市長崎から近代都市長崎へ